

2代目「ロイヤル・プリンセス」初来日

2024-4-27 事務局長 池田良穂

プリンセス・クルーズの「ロイヤル・プリンセス」が、2024年4月に初来日しました。オーストラリア起点のオセアニア・アジアクルーズで横浜に着き、北米西岸のクルーズにシフトするための途中の来日で、高知(4/24)、大阪(4/25)、清水(4/26)、横浜(4/27)に到着して、同日に横浜港を出て、宮古(4/29)、青森(4/30)、函館(5/1)、室蘭(5/2)、釧路(5/3)に寄港した後、北太平洋を渡ってアラスカに移動します。今夏はカナダのバンクーバー発着のアラスカクルーズに就航の予定です。

同船は、1984年に就航した、全室アウトサイドでベランダ付きという画期的な初代「ロイヤル・プリンセス」の名前を継いだ2代目として、同社の「グランド・プリンセス」から始まる同社の11万総トン級シリーズ9隻に続く、14万総トン型シリーズの第1船として、2013年にイタリアのフィンカンテリ造船所で建造されました。最大旅客定員4272名は、11万総トンクラスよりも1150名余り多くなっています。姉妹船に、ディスカバリー・プリンセス、エンチャンテッド・プリンセス、スカイ・プリンセス、マジェスティック・プリンセス、リーガル・プリンセスの5隻があります。

ちなみにプリンセス・クルーズは、14万トンシリーズ6姉妹の後、17万総トン級「サン・プリンセス」を第1船とする新シリーズ船の建造に移っています。



大阪に入港した「ロイヤル・プリンセス」は、港口に船首を向けた出船状態で停泊したため、いつものように渡船に乗船しても船首からの写真が撮れなかったため、港内遊覧船「サンタマリア」に乗船して撮影することにしました。乗場は「ロイヤル・プリンセス」の船首のすぐ先でした。



「サンタマリア」が出港するとすぐ「ロイヤル・プリンセス」の正面から撮影することができました。



遊覧船がすぐ近くを通ったためダイナミックな写真を撮ることができました。船体中央部の上部に丸く突き出したガラス張りのシーウォーク、最近はやりの突き出した船尾などが特徴です。ライフボートは、船尾側の3隻が大型になっているのが分かります。





天保山岸壁の全景です。



右が海遊館、中央の黄色の建物がマーケットプレイスに続く建物です。



大阪港の一面に「ゆめおんII」という船が繋がっていました。元雌雄島海運の高松～女木島/男木島航路の「ゆめおん」です。解体されるのか、どこかで第2の人生を送るのか気になります。



旭洋造船建造の半球形ブリッジのセメント船「清安丸」が出港していくのを見えました。左の、使われなくなった海事博物館の球形ドームと好対照でした。



港大橋の下を通過して出港していくコンテナ船 Cebu に会いました。